

岩手河川国道事務所からの情報提供

- 気象業務法及び水防法の一部を改正する法律
- 流域タイムラインの作成・活用の推進
- 指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表
- 要配慮者利用施設の避難に関する参考ページ
- 減災対策の一環として「自然災害伝承碑」を地理院地図に登録
- まるごとまちごとハザードマップ
- 川の防災情報

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

いのちとくらしをまもる
防災減災

令和5年5月31日
気象庁 総務部 企画課
水管理・国土保全局 水政課

「気象業務法及び水防法の一部を改正する法律」の公布及び一部施行

防災に関する情報提供の充実に向けて、国・都道府県が行う洪水等の予報・警報や民間の予報業務の高度化・充実を図るための「気象業務法及び水防法の一部を改正する法律」が、本日公布されましたのでお知らせいたします。

下記（１）①については、本日から施行します。

それ以外については、本日から6ヶ月を超えない範囲内において政令で定める日から施行します。

【概要】

（１）国・都道府県による予報の高度化

① 都道府県指定洪水予報河川の洪水予報の高度化

- ・ 国土交通大臣が、都道府県知事の求めに応じ、都道府県の洪水予報河川の予測水位情報を提供
- ・ 都道府県知事と気象庁長官は、提供された情報を踏まえ、共同して洪水予報を実施

② 火山現象に伴う津波の予報・警報の実施

- ・ 気象庁の予報及び警報の対象となる現象に、火山現象に伴う津波を追加

（２）民間事業者による予報の高度化

① 最新技術を踏まえた予報業務の許可基準の最適化

- ・ 最新の予測手法の導入により予報精度の向上を図るため、許可基準を新設 等

② 防災に関連する予報の適切な提供の確保

- ・ 洪水等の社会的影響が特に大きい現象の予報業務には事前説明を義務付け 等

③ 予報業務に用いることができる気象測器の拡充

- ・ 予報精度向上のため、検定済みではない気象測器の補完的な使用を可能に

なお、上記（１）①についての詳細は以下の国土交通省 HP をご参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/river/kasen/yosokusui/index.html>

問い合わせ先

【全般・気象業務法（（１）①以外）に関すること】

気象庁総務部企画課 桑嶋・三浦 03-6758-3900（内線 6721・6723）

【水防法（（１）①）に関すること】

水管理・国土保全局水政課 井上・上野 03-5253-8111（内線 35213・35228）

● 気象業務法及び水防法の一部を改正する法律案

背景・必要性

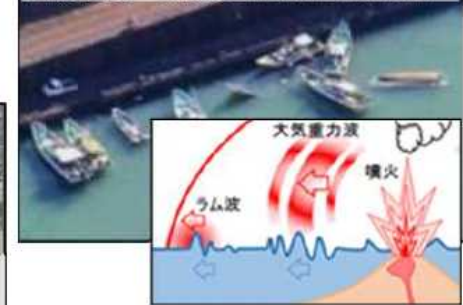
- 自然災害の頻発・激甚化や過去に例のない災害の発生を踏まえ、**防災対応のための国や都道府県が行う予報・警報の高度化**が求められている。
- 加えて、洪水等に対する民間の事業継続等のため、国等が行う予報を**補完する局所的な予報**(個々の事業者等に向けた予報)のニーズも高まっている。
- これらのニーズに対応する**最新の技術進展**(※)を踏まえ、自治体や住民、事業者等における様々な防災対応がより適確に実施されるよう、官民それぞれにおいて、**予報の高度化・充実**を図る必要がある。

令和元年東日本台風(千曲川)



令和2年7月豪雨(球磨川)

過去に例のない海外の火山噴火に伴い、津波が発生し船舶が転覆(令和4年1月)



(※)国指定河川の洪水予報では本川・支川一体予測を可能とする技術が、民間ではコンピュータシミュレーションによる予測技術等が進展。

法案の概要

国・都道府県による予報の高度化 — 国民の防災活動に資する「防災気象情報」の提供

① 都道府県指定洪水予報河川の洪水予報の高度化 【水防法・気象業務法】

洪水

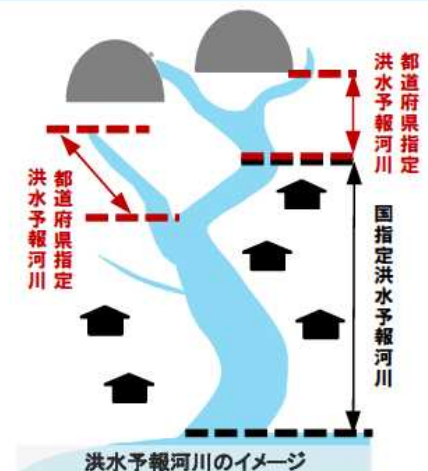
- 国土交通大臣は、都道府県知事の求めに応じ、国指定河川の水位を予測する過程で取得した**都道府県指定河川の予測水位情報を提供**(※)。
- 都道府県知事と気象庁は、当該情報を踏まえ、共同して洪水予報を実施。

(※) 気象業務法の予警報制限を適用除外

② 火山現象に伴う津波の予報・警報の実施 【気象業務法】

津波

- 気象庁が実施する業務に「**火山現象に密接に関連する陸水及び海洋の諸現象**」を追加し、火山現象に伴う津波の予報・警報を適確に実施。



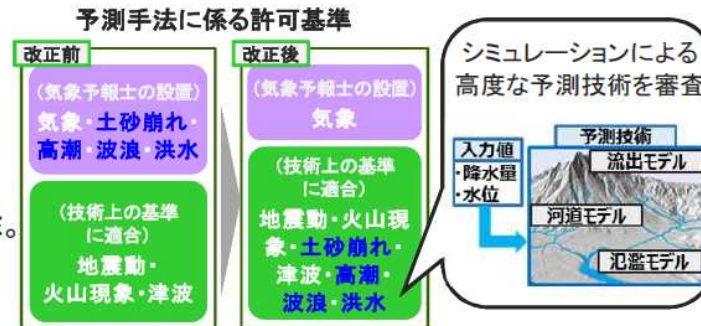
民間事業者による予報の高度化 — 多様なニーズに応じた「きめ細やかな予報」の提供

① 最新技術を踏まえた予報業務の許可基準の最適化 【気象業務法】

土砂崩れ 高潮 波浪 洪水

○ 土砂崩れ・高潮・波浪・洪水(気象の予測結果により予測可能な現象)の予報業務の許可について、**最新技術に基づく予測手法の導入による予報精度の向上を図るため、許可基準を新設し、気象庁長官が予測技術を審査。**

- ・自ら気象の予測をしない事業者は、気象予報士の設置義務を免除。
- ・土砂崩れ・洪水の予測技術の審査には、国土交通大臣も関与。



② 防災に関連する予報の適切な提供の確保 【気象業務法】

火山現象 土砂崩れ 津波 高潮 洪水

○ 社会的な影響が特に大きい現象(噴火・火山ガス・土砂崩れ・津波・高潮・洪水)の予報業務について、気象庁の予報等との相違による**防災上の混乱を防止**するため、**事前説明を行った者のみへの提供を許可**。(事前説明の義務付け)

○ 気象庁以外の者の警報の制限の対象に土砂崩れを追加。



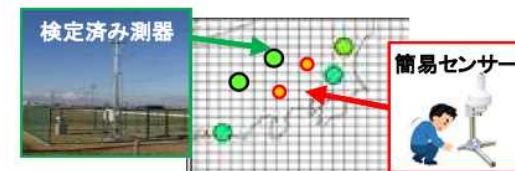
【説明事項】
・国等の警報との違い
・予報の特性・誤差等

許可事業者からサービス利用者に対し事前に説明

③ 予報業務に用いることができる気象測器の拡充 【気象業務法】

気象等

○ 予報の精度向上を図るため、気象庁長官の確認を受けた場合には、検定済みではない気象測器を予報業務のために**補完的に用いることを可能**とする。



検定済み測器の観測値を主として、簡易センサーによる観測値を補完的に利用して予報

目標・効果

- ① 国土交通省による都道府県指定河川の予測水位情報の提供により、早期に洪水予報が可能となる河川数: 施行後5年間で約900河川
- ② 国等が行う洪水等の予報を補完する予報のニーズに対応する予報業務許可事業者の数: 土砂崩れ0者、洪水0者(2023年)⇒土砂崩れ10者、洪水30者(2028年)

目指す姿

洪水予測の高度化による災害対応や避難行動等の支援

概要

- 令和3年出水期から、国管理の洪水予報河川すべてで、洪水予報の発表の際に6時間先までの水位予測情報の提供を開始。
- 一級水系では、国が中心となり水系・流域が一体となった洪水予測による精度向上や、これに伴う新たな支川等の予測情報の提供に取り組むとともに、主要な河川において、長時間先の幅をもった水位予測情報を提供することにより、河川の増水・氾濫の際の災害対応や住民避難を促進。

Before

洪水予報では、3時間先までの水位予測情報を提供

国管理の洪水予報河川では、洪水予報の発表の際に、3時間先までの水位予測情報を提供しているところ。

3時間先までの水位予測情報の提供(イメージ)

3時間後までの予測では、氾濫危険水位の超過が見逃せないケース。

After

洪水予報で6時間先までの水位予測情報を提供 実装済

令和3年の出水期から、すべての国管理の洪水予報河川で、水位予測に観測水位を同化させ精度の向上を図った予測モデルに基づき、6時間先までの水位予測情報を提供

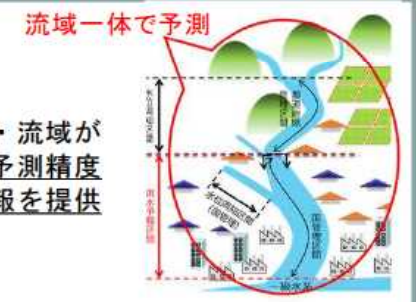
6時間先までの水位予測情報の提供(イメージ)

氾濫危険水位超過をより早期に察知

氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】の発表を早めることで、高齢者等の避難のリードタイムをさらに確保!

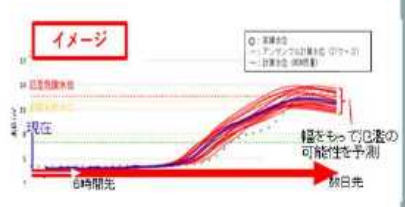
水系・流域が一体となった洪水予測情報の提供

一級水系では国が中心となり、水系・流域が一体となった洪水予測を行うことで、予測精度の向上のほか、新たに支川等の予測情報を提供することで防災対応や避難を支援。



数日先の氾濫の可能性の提供 (長時間先の水位予測)

現在、6時間先まで提供している水位予測情報について、不確実性の高い長時間先の水位予測を複数のケースにより幅をもって示すことで、数日先の氾濫の可能性の情報を提供し、防災対応の準備のほか、特にリードタイムが必要となる広域避難等の判断を支援。

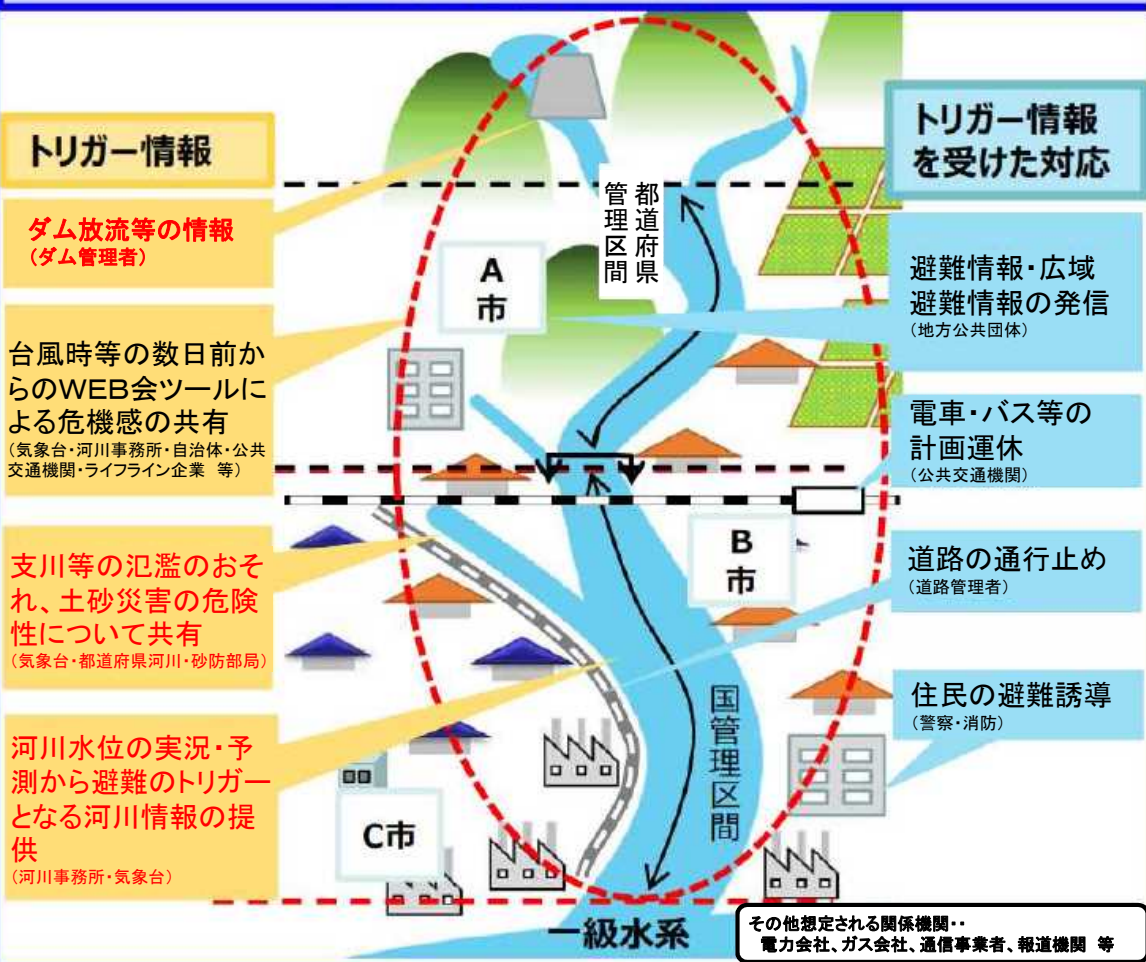


令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
6時間先水位予測情報	中小河川の水位予測技術の開発		水位予測情報の提供可能河川の拡大	
1日半先の試験運用開始		長時間先水位予測情報の対象拡大及び更なる長時間化の技術開発・実装		

流域タイムラインの作成・活用の推進

- 国土交通省防災業務計画（令和3年10月）により、「避難情報に着目した水害対応タイムラインを複数の市区町村等を対象とした流域タイムライン」の見直しに着手。
- 河川の増水、氾濫時の更なる円滑な防災対応や、訓練等に活用することで、**振り返りによる改善**を実施。

流域タイムラインのイメージ



■水害対応タイムラインと法定計画との関係

領域	法定計画等 (策定主体)	タイムライン
流域	国土交通省防災事業計画等 (地方整備局等、事務所等)	①流域タイムライン (他機関連携型タイムライン)
市区町村	地域防災計画 (市区町村)	②市区町村タイムライン (他機関連携型タイムライン)
地区	地区防災計画 (自治会、自主防災組織)	コミュニティタイムライン
個人、事業者等	避難確保計画 (要配慮者利用施設) 個別避難計画(要配慮者)	③マイ・タイムライン

流域タイムラインに関するお願い

流域タイムラインは、令和5年度の出水期から活用する計画としています。

資料-6-2が作成した流域タイムラインとなりますので、内容の確認をお願いします。

流域タイムラインは、訓練や実際の洪水対応において**気づいた点を反映し、改善していく**ことを想定しています。

今後、幹事会におきまして修正等の情報提供をお願いします。

指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表

いのちとくらしをまもる
防災減災

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

【同時発表：気象庁記者クラブ】

令和4年5月18日
気象庁 大気海洋部 業務課
水管理・国土保全局 河川計画課

今出水期から行う防災気象情報の伝え方の改善について

出水期を迎えるにあたり、住民の皆様の適切な避難の判断・行動につながるよう、防災気象情報の伝え方を改善します。

住民の皆様の適切な避難の判断・行動につながるよう、防災気象情報の伝え方を改善するため、有識者で構成される「防災気象情報の伝え方に関する検討会」において、令和3年度にかけて課題や改善策を検討いただきました。

気象庁と水管理・国土保全局では、これらの検討結果を踏まえ、これまでも防災気象情報の改善の取組を行ってきたところですが、避難をはじめとする防災対策により一層役立つよう、今出水期から別紙の取組を進めていきますのでお知らせします。

【主な取組】

- ・線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけ
- ・キキクル（危険度分布）「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合
- ・大雨特別警報（浸水害）の指標の改善
- ・指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表 等

これらの取組を通して、住民の皆様の適切な避難の判断・行動につながるような情報発信、リスクコミュニケーションにつとめていきます。

【問合せ先】

気象庁 大気海洋部 業務課 久保池、松田
電話 03-6758-3900（内線 4121、4122） FAX 03-3434-9047
水管理・国土保全局 河川計画課 河川情報企画室 外山、杉山
代表：03-5253-8111（内線：35392、35396）
直通：03-5253-8446、FAX：03-5253-1602

別紙

1. 令和2～3年度の検討会報告書を踏まえた取組

○ 線状降水帯による大雨の可能性の半日程度前からの呼びかけ（令和4年6月1日～）
線状降水帯による大雨発生の可能性が高い場合に、複数の県にまたがる広域を対象に、線状降水帯による大雨となる可能性を半日程度前から気象情報において呼びかける改善を実施。

○ キキクル（危険度分布）「黒」の新設と「うす紫」と「濃い紫」の統合（令和4年6月30日～）

キキクル（危険度分布）に警戒レベル5相当の「災害切迫」（黒）を新設するとともに、警戒レベル4相当を「危険」（紫）に統合することで、より分かりやすく危険度を伝えることができるようにする改善を実施。

2. 令和元年度の検討会報告書を踏まえた取組

○ 大雨特別警報（浸水害）の指標の改善（令和4年6月30日～）

災害発生との結びつきが強いキキクル（危険度分布）の技術を用いることで、災害が発生・切迫している警戒レベル5相当の状況に一層適合した大雨特別警報（浸水害）に改善。

3. その他

○ 高潮警報の内陸市町村での運用追加（令和4年5月26日～）

高潮氾濫発生情報の運用が開始された都道府県において、高潮による浸水想定区域がこれまで高潮警報を運用していなかった内陸市町村に及ぶ場合は、該各市町村を対象に高潮警報を発表。

○ 指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表（令和4年6月13日～）

指定河川洪水予報の氾濫危険情報を、現在は実況に基づき発表しているところ、加えて予測に基づいて発表できるようにする運用に変更。

※実施日は、気象の状況等により、延期する場合があります。

令和4年5月18日記者発表
気象庁 大気海洋部 業務課
水管理・国土保全局 河川計画課

取組の概要

- 現在、国管理河川の指定河川洪水予報では、氾濫危険水位※¹に到達したときに氾濫危険情報を発表している。

※¹ 洪水により、家屋浸水等の被害を生じる氾濫が発生するのおそれがある水位。

- 今般、基準地点において、氾濫する可能性のある水位※²に3時間先までに到達する見込の場合は、予測に基づいて氾濫危険情報を発表できるよう運用を改善する。

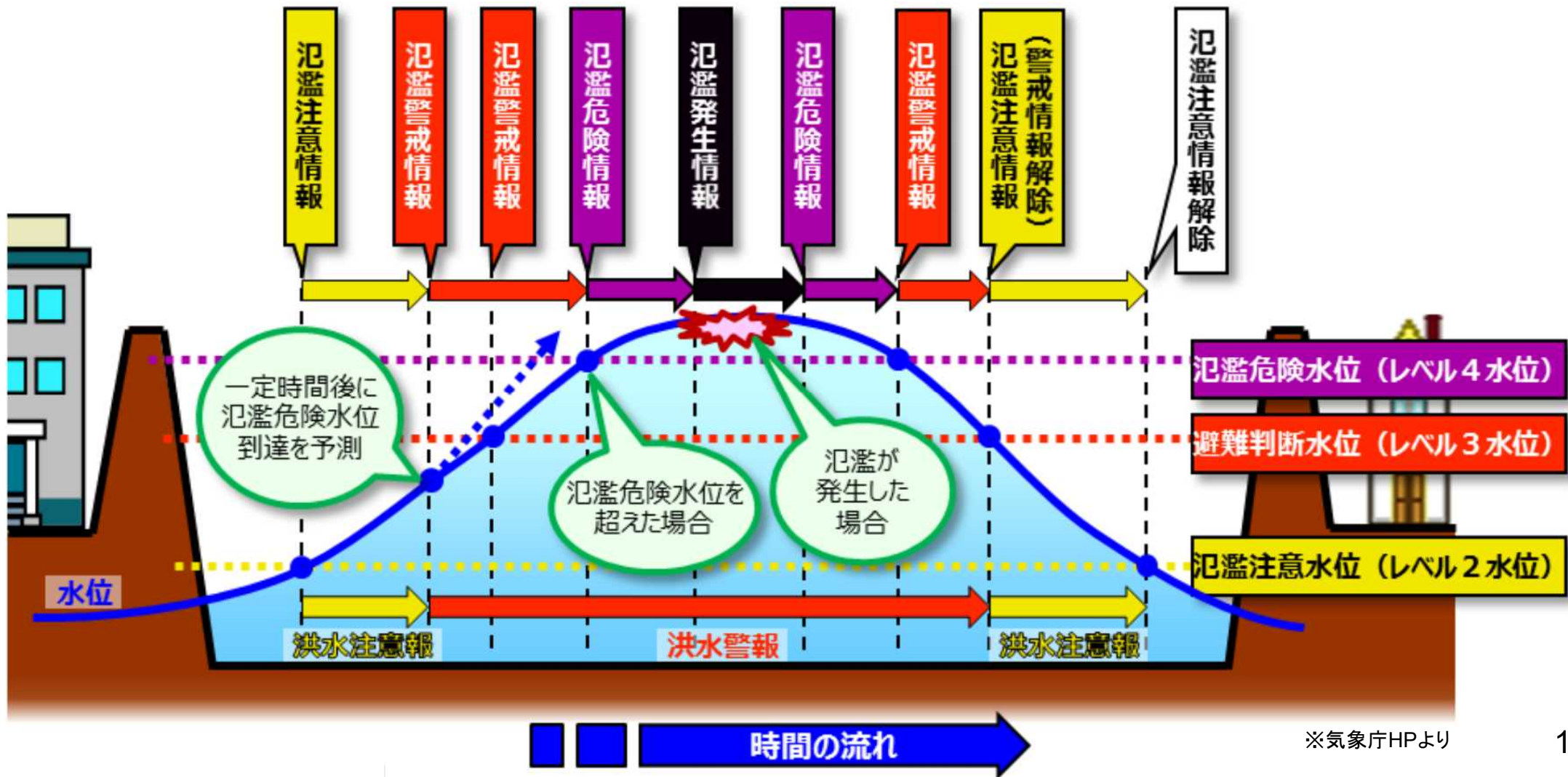
※² 氾濫危険水位を上回る所定の水位。
河川区域内で最も越水・溢水の可能性が高い箇所での氾濫が始まるときの水位を、
そこを受け持つ水位観測所の水位に換算した水位。

- 予測に基づく氾濫危険情報は、令和4年6月13日から運用開始。

指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表

令和4年5月まで

実況水位が**氾濫危険水位に到達した場合**に氾濫危険情報(警戒レベル4相当:避難指示の目安)を発表。



指定河川洪水予報の氾濫危険情報を予測でも発表

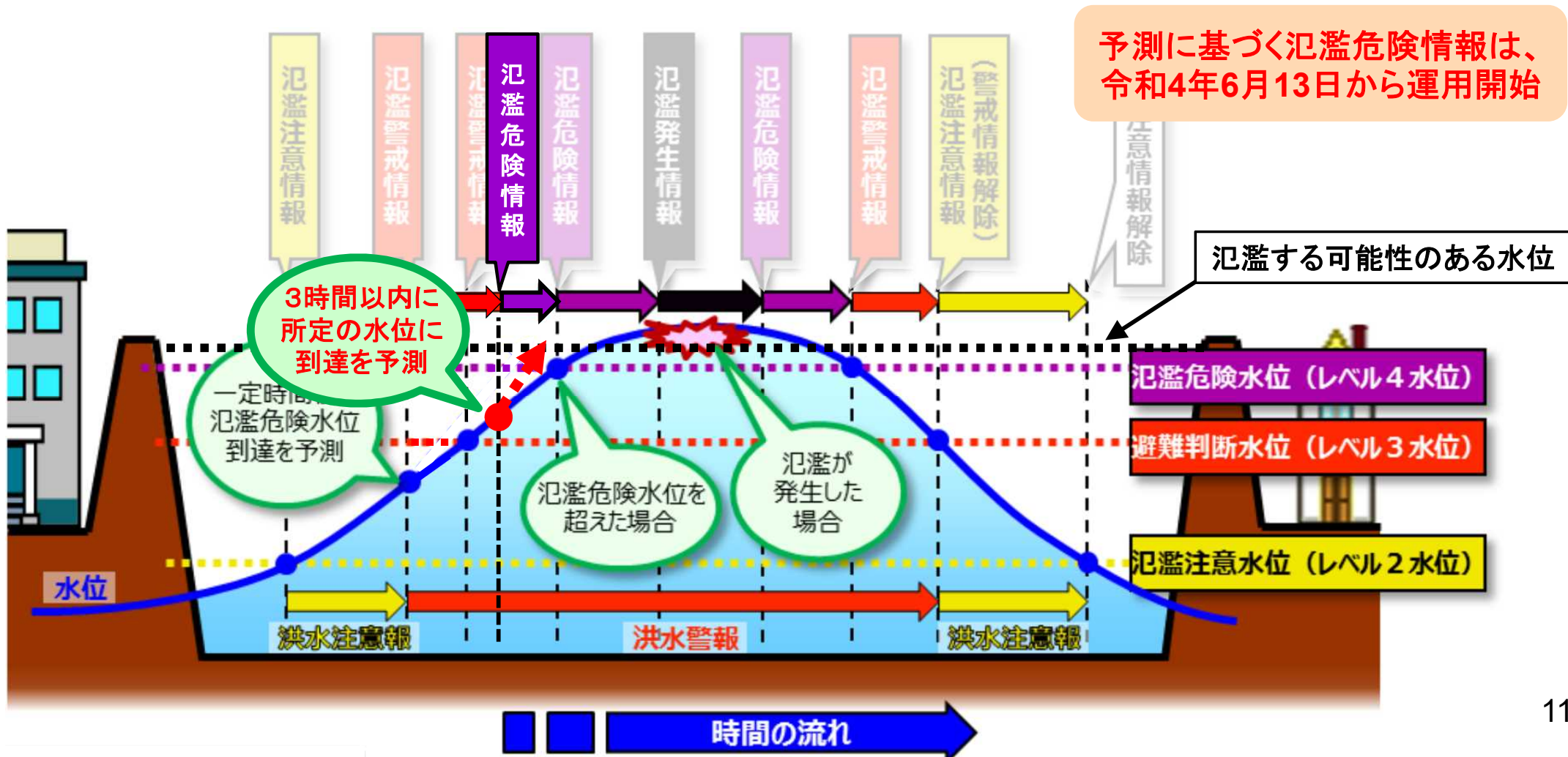
令和4年
6月から

従来の運用に加えて

水位が急激に上昇し、**3時間以内に氾濫する可能性のある水位に到達する見通しとなった場合は、予測に基づいて氾濫危険情報を発表。**


これにより、急激な水位上昇に対応し、これまでの運用より早い段階から警戒を呼びかけることが可能になる。

予測に基づく氾濫危険情報は、令和4年6月13日から運用開始



令和4年6月の運用変更に伴い、「氾濫危険情報」の発表基準が変更となっています。各自治体におかれましては、「水防計画」へ反映していただきますようお願いいたします。

現在	標題	発表基準
	氾濫危険情報	<ul style="list-style-type: none">・氾濫危険水位に到達したとき・氾濫危険水位を超える状態が継続しているとき



改善後	標題	発表基準(記載例)
	氾濫危険情報	<ul style="list-style-type: none">・急激な水位上昇によりまもなく氾濫危険水位を超え、さらに水位の上昇が見込まれるとき・氾濫危険水位に到達したとき・氾濫危険水位を超える状態が継続しているとき

要配慮者利用施設の避難に関する参考ページ

浸水想定区域や土砂災害警戒区域内等の要配慮者利用施設※では、避難確保計画の作成・避難訓練の実施が義務づけられています。

※市町村地域防災計画に位置付けられた社会福祉施設、学校、医療施設等

国土交通省ホームページに関連する資料が掲載されていますので、参考としてください。

【関連ホームページ】（国土交通省）

- ・避難確保計画の作成・活用の手引き
- ・記載様式
- ・チェックリスト 等

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jjeisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>



- ・避難確保に関するeラーニング教材【動画】



<https://youtu.be/VtMlyW9Yow4>

- ・避難確保計画の作成・活用のポイント【動画】



<https://youtu.be/Va400F33ucs>

【問い合わせ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室
砂防部 砂防計画課

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3 電話 03-5253-8111（代表）

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jjeisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>

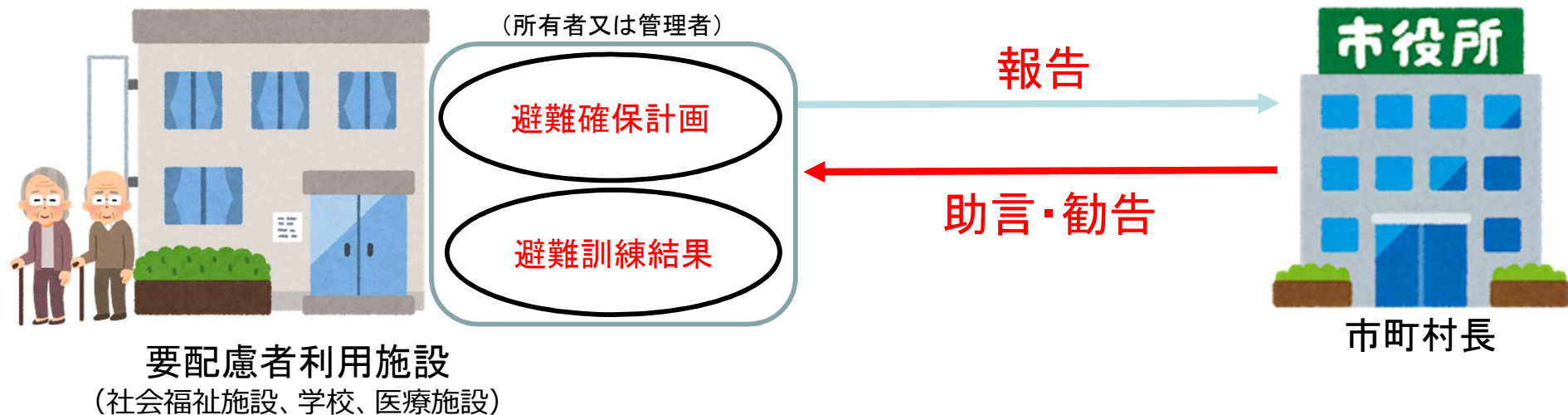
R4年9月30日現在

県名	対象要配慮者 利用施設	避難確保計画作 成済み施設数
岩手県	1078	965

要配慮者利用施設における避難確保の重要性

【避難確保計画の作成と訓練の実施】

- 岩手県岩泉町の被災を受けて、平成29年に水防法と土砂災害防止法が改正され、市町村の地域防災計画に位置づけられた高齢者施設等の要配慮者利用施設は、**避難確保計画の作成と市町村への報告、避難訓練の実施**が義務づけられました。
- 熊本県球磨村の被災を受けて、令和3年に水防法と土砂災害防止法が改正され、**市町村への訓練結果の報告**が義務づけられ、避難確保計画や訓練結果の報告を受けた**市町村が管理者等に対して助言・勧告**する支援制度が創設されました。



特別養護老人ホーム「けいわ苑」の事例

【福島県喜多方市】

- 令和4年8月3日からの大雨により、喜多方市塩川町にある特別養護老人ホーム「けいわ苑」では、浸水前に、職員が1階にいた高齢の利用者39人を2階以上に垂直避難させ、人的被害はなかった。
- 施設では、ハザードマップを通して、河川氾濫の危険性を認識しており、常日頃から付近の河川の危機管理型水位計(福島県設置)の水位情報を確認していた。
- 水防法に基づく避難確保計画を作成しており、毎年避難訓練を実施するなど平時から災害に対する備えの意識が高かった。

【避難までの経緯】(※施設職員への聞き取りによる)

- 8/3 23:00
姥堂川の前田橋観測所(危機管理型水計)が危険水位を超過
- 8/3 23:30
危険水位超過をふまえ、職員を緊急参集し、1階の入居者を垂直避難させるよう指示
- 8/4 00:20
全員の避難を完了
- 8/4 01:35
敷地内の駐車場で冠水が始まったため、施設の入り口に土のうを設置
- 8/4 02:30
施設内にも浸水が始まる

訓練実施状況



【被害状況】(喜多方市)
人的被害：なし
住家被害：床上浸水16棟
床下浸水109棟
(福島県被害状況即報第24報より)

けいわ苑の浸水状況



(写真:けいわ苑提供)



(写真:喜多方市提供)



【施設長コメント】

「ハザードマップや避難訓練を通して、近くを流れる川の危険性は認識していたので、無事に避難を終えることができました。入所者の命の安全を確保し、安心して暮らせるよう今後も努めていきたい」

(NHKニュース記事より)

グループホームメディフル藤田・藤田東館の事例

【岡山県岡山市】

- グループホームメディフル藤田、藤田東館は、平成28年台風第10号により岩手県の高齢者施設において多数の利用者が亡くなり、厚生労働省および岡山市から利用者の安全確保と非常災害時の体制整備の強化・徹底について通知を受け、同年10月に既存の防災計画の対象に水害を追加し、同月に水害を想定した職員訓練を実施。
- 平成30年7月豪雨においては、防災計画に従って、利用者27名全員と職員が運営母体の医療施設に避難。

施設の概要・取組

<施設の概要>

- 平屋の建物に27名(メディフル藤田18名、メディフル藤田東館9名)の認知症高齢者が入居。
- 想定最大規模の洪水により1.0m~2.0mの浸水が想定される。

<施設の取組>

- 平成28年10月に水害時の避難に関する計画を作成し、同月に水害を想定した職員訓練を実施。
- 重要な書類や備蓄品等は建物の高い場所に配置。

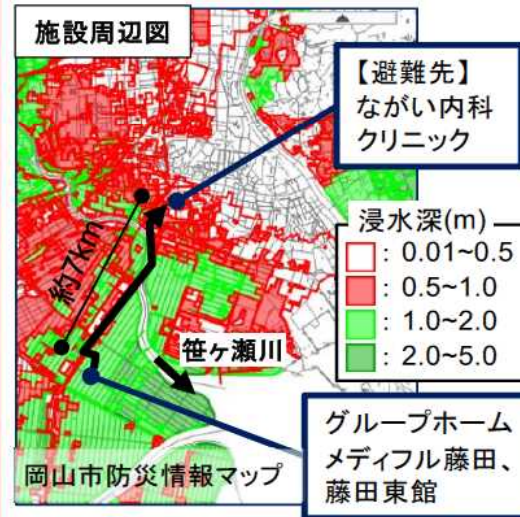


避難



※両施設とも、医療法人よつば会が運営

平成30年7月豪雨における避難の概要



【事前の周知】

大雨が事前に予想されていたため、大雨時の対応について職員に事前に周知。

【配車表を活用】

計画に基づき配車表を作成し、車で計画的に避難。



避難の時系列

避難準備・高齢者等避難開始 発令
7月6日 6:10

避難開始
7月6日 9:30

避難完了
7月6日 12:00

避難指示 発令
7月6日 22:45

令和4年の出水対応に伴う避難指示発令状況

対応降雨	指示の有無	発令自治体数	避難世帯	避難人数	備 考
R4.6.11大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.7.4大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.7.5大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.7.11大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.7.13大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.7.15大雨警報発表に伴う対応	指示有り	2	30	33	一関市、陸前高田市
R4.7.18大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.7.20大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.7.22大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.7.23大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.8.1大雨・洪水警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.8.3大雨警報発表に伴う対応	指示有り	10	80	162	盛岡市、八幡平市、葛巻町、岩手町、久慈市、野田村、二戸市、九戸村、軽米町、一戸町
R4.8.11大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.8.12大雨警報発表に伴う対応	指示有り	5	33	65	盛岡市、雫石町、紫波町、花巻市、宮古市
R4.8.15大雨警報発表に伴う対応	指示有り	1	6	9	花巻市
R4.8.18大雨警報発表に伴う対応	指示有り	2	0	0	花巻市、岩泉町
R4.9.1大雨警報発表に伴う対応	避難指示無し				
R4.9.19台風14号接近に伴う対応	指示有り	3	19	26	陸前高田市、大槌町、岩泉町
R4.9.24洪水警報発表に伴う対応	避難指示無し				
計	6	23	168	295	

※いわて防災情報ポータルサイト参照

減災対策の一環として「自然災害伝承碑」を地理院地図に登録

【背景・概要】

自然災害伝承碑とは、過去に起きた自然災害の規模や被害の状況を伝える石碑やモニュメントで、災害の教訓を後生の私たちに伝えたいという先人の思いが込められています。

自然災害の教訓を地域の方々にわかりやすく伝え、的確な防災行動につなげ、被害の軽減することを目指すため、過去の洪水の歴史を伝える石碑等を「自然災害伝承碑」に登録し、「地図で伝承碑情報を発信」しております。

【活用等】

自然災害伝承碑を地理情報として発信することにより、地理・防災教育への活用など、地域の方々の防災意識向上、自発的な避難行動のきっかけとなることで被害の軽減を目指します。



伝承碑(モニュメント)の例
(岩手県盛岡市)



伝承碑(モニュメント)の例
(岩手県一関市)



地理院地図(WEB)でご覧いただけます

地理院地図 自然災害伝承碑

検索

国土交通省
国土地理院
Geospatial Information Authority of Japan

国土地理院について 位置の基準・測量情報 地図・空中写真・地理調査

地理院ホーム > 地図・空中写真・地理調査 > 主題図(地理調査) > 自然災害伝承碑

自然災害伝承碑

国土地理院HP
(自然災害伝承碑)

災害履歴情報

土地の成り立ち

自然災害伝承碑

地形分類

組み合わせ

明治26年大洪水供養塔

水位

旧河道(浸水・液状化のリスク)

氾濫平野(浸水・液状化のリスク)

高梁川

小田川

源福寺境内:岡山東急数市真備町

写真提供:中国地方整備局岡山河川事務所

イメージ図

<p>学校における学習教材</p> <p>防災教育ポータル</p> <p>身近な災害履歴を学ぶための学習教材として、小中学校で活用いただく。</p> <p>地理教育や防災教育への貢献</p>	<p>地域探訪の目標物</p> <p>歩こう会などの探訪コースを設定する際の目標物とすることで、参加者が地域を歩きながら自然と過去の災害情報に触れる機会を創出する。</p> <p>防災に対する関心を高めるきっかけ</p>	<p>防災地図の素材</p> <p>自然災害伝承碑の情報などを素材とした防災地図を、児童生徒が現地調査を交えながら作成する。</p> <p>児童生徒やそのまわりの大人の防災意識向上</p>
---	--	--

様々な事業での活用

「自然災害伝承碑」登録事例(R5.4月時点)

地理院地図 (電子国土Web) 例: 劔岳 / 金沢市木ノ新保町 / 3



地図の種類

トップ > 災害伝承・避難場所 > 自然災害伝承碑

- 自然災害伝承碑 (すべて)
- 自然災害伝承碑 (洪水)
- 自然災害伝承碑 (土砂災害)
- 自然災害伝承碑 (高潮)
- 自然災害伝承碑 (地震)
- 自然災害伝承碑 (津波)
- 自然災害伝承碑 (火山災害)
- 自然災害伝承碑 (その他)

選択中の地図

- 自然災害伝承碑 (土砂災害) 透過率
- 自然災害伝承碑 (洪水) 透過率
- 淡色地図 ケーススケール 透過率

中津川治水碑

概要	
碑名	中津川治水碑
災害名	洪水 (1910年9月2日)
災害種別	洪水
建立年	1912
所在地	岩手県盛岡市大沢川原1-2(下の橋グリーンプロット)
伝承内容	明治43年(1910)9月2日から大雨が連日降り続き、中津川外河川が氾濫して盛岡市全域が冠水、多くの橋が流失し交通が寸断された。この災害により、死傷者2名、家屋の全壊半壊破損及び流失406戸、床上床下浸水2490戸等の甚大な被害を被った。

盛岡市

ID:03201-001

姉体堤防建設記念碑

概要	
碑名	姉体堤防建設記念碑
災害名	アイオン台風 (1948年9月)
災害種別	洪水
建立年	1994
所在地	岩手県奥州市水沢姉体町 (国道343号藤橋右岸上流堤防)
伝承内容	昭和23年(1948)9月、東北地方を襲ったアイオン台風は北上川沿川の田畑を次々に冠水させ、家屋の流失や北上川にかかる橋梁を明治橋と藤橋を残して全て流失させる等の甚大な被害をもたらした。姉体村では北上川右岸沿いの平坦地の80%が冠水し、稔った作物は泥土に埋もれる等の被害を被った。

奥州市

ID:03215-001

沿水記念碑

概要	
碑名	治水記念碑
災害名	アイオン台風 (1948年9月16日)
災害種別	洪水
建立年	1954
所在地	岩手県遠野市青笹町中沢瀨内地区
伝承内容	アイオン台風(昭和23年(1948)9月16日)は9月15日から16日にかけて岩手県を襲い、遠野地方では雨量が280ミリを超える豪雨となり、中沢川が氾濫、橋梁の全てが壊滅した。青笹町(旧青笹村)では流失建物2棟、耕地の埋没50ヘクタール余りの惨事となった。

遠野市

ID:03208-001

一関市

【自然災害伝承碑の登録状況 (R5.4時点)】

盛岡市1件、遠野市1件、奥州市1件、一関市5件の計8件が登録済み。
現在、奥州市は、さらに7件の登録に向けて作業中。平泉町(1件)においては、国土地理院において審査中。

まるごとまちごとハザードマップ実施の手引き(第2版) <平成29年6月公表>

背景・必要性

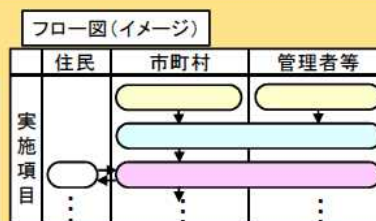
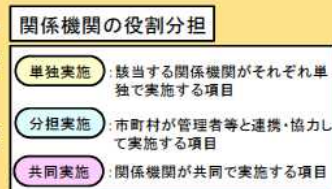
- 洪水ハザードマップの更なる普及浸透、住民等の水害に対する危機意識の醸成、避難所等の認知度の向上を図ることを目的として、生活空間である“まちなか”に水防災にかかる各種情報を標示する「まるごとまちごとハザードマップ」の取組を推進するため、平成18年に手引きを作成。(平成28年3月末現在、約1割の市町村(対象約1,300市町村)で実施)
- 平成27年9月関東・東北豪雨災害において、ハザードマップが十分に認知されておらず多くの逃げ遅れによる孤立者が発生したことや、平成28年8月北海道・東北地方を襲った一連の台風により甚大な人的被害が発生したことを踏まえ、まるごとまちごとハザードマップの取組をさらに促進するため、市町村と河川管理者等との役割分担を明確にし、取組の実施に係る検討や作業等の流れを具体化・詳細化するなど、市町村がより円滑に取組を進められるよう手引きを改定。
- あわせて、対象とする水害に内水、高潮を加えるとともに、JISの改正に伴う洪水の図記号を変更。また、これまでの取組の蓄積を事例集にとりまとめ、新たに追加。

改定の概要

多発する浸水被害への対応を図るため、まるごとまちごとハザードマップの全国的な取組を推進する。

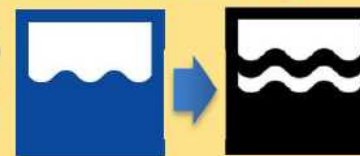
1. 実施に係る検討・作業等の流れの具体・詳細化

- 事前調査段階から設置、維持管理・活用の各段階の具体的な流れや留意点を具体・詳細化
- 各検討・作業における関係機関の役割分担が把握できるフロー図を記載



3. JISZ8210(案内用図記号)の改正に伴う図記号の変更

- JISZ8210(案内用図記号)の改正に伴い洪水の図記号を変更



2. 水防法改正に伴い内水・高潮を追加

- 内水と高潮の図記号を新たに追加(内水は、洪水に同様)



洪水・内水



高潮

内水・高潮標識が追加となる



各種浸水想定区域

4. 取組の蓄積を事例集にとりまとめ新たに追加

- 住民との連携、視認性や地域特性に配慮した標識の設置事例、活用事例等の先進事例を追加



取組事例集

実施状況(2020.1末)

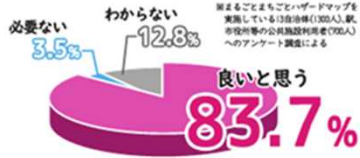
まるごとまちごとハザードマップ
実施自治体



203 / 1,356
(ハザードマップ
作成対象自治体数)

山梨県韮崎市(釜無川)

取り組みへの評価



実施のメリット

- ✓ 日常生活で視認されやすい
- ✓ 紙媒体のように破棄・紛失されることがない
- ✓ 浸水リスクを伝えたい人に伝えることができる
- ✓ まち全体に浸水リスク等を伝えることができる

ひとつごとでは、ないかもしれない

簡易的なまるごとまちごとハザードマップの取り組み事例



門真市の取組事例

- ▶ 浸水位テープを活用し、浸水深を線として表示



千代田区の取組事例

- ▶ 浸水深表示をシールで製作し、人目につきやすい集客施設等のエントランスに貼り付けて表示



横浜市での取組事例

- ▶ ハザードマップで浸水深を調べて、身近な場所に貼れる「浸水深シール」を配布



金沢市の取組事例

- ▶ 想定浸水深をオレンジ色のラインで表示し、見る側がラインの高さが浸水位であることを学習

まるごとまちごとハザードマップの関連情報

まるごとまちごとハザードマップ
について調べる

[まるごとまちごとハザードマップ](#)

- ▶ まるごとまちごとハザードマップの考え方や設置の仕方、現地確認用のツールや取組事例などを紹介しています。



知りたい場所の浸水リスク
- 浸水想定について調べる

[浸水ナビ](#)

- ▶ どの河川のどの地点が決壊(破壊)したら、自宅や会社などが浸水するのかがわかります。



ハザードマップについて
調べる

[ハザードマップポータルサイト](#)

- ▶ 災害リスク情報などを地図に重ねて表示したり、各自治体が作成したハザードマップへリンクされています。



お問合せ先

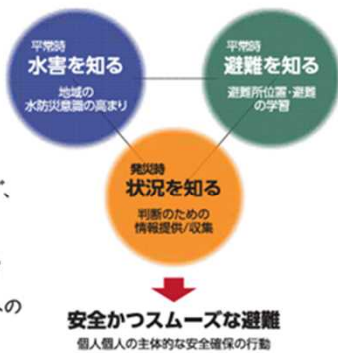
〒100-8918
東京都千代田区霞が関 2-1-3 電話 03-5253-8111 (代表)
水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室

まるごとまちごと ハザードマップ



まるごとまちごとハザードマップ

「まるごとまちごとハザードマップ」とは、その地域の洪水による浸水のリスクや避難に関する情報を生活空間であるまちなかに表示して自然に目に入るようにすることで、日頃から水防災への意識を高めていこうとする取り組みです。自分の住む家やまちで水害が発生したときにどんな状況になるのか？それをイメージし、市区町村が作っている「洪水ハザードマップ」への興味関心を促します。



まちなかに浸水位を表示する
その他のケース



想定浸水深の表示



山形県長井市（最上川）
▶ 避難所への誘導情報を合わせて表示

実績浸水深の表示



愛媛県大洲市（砥川）
▶ 砥川流域会議による設置深さの考え方を追記

「想定浸水深」の表示は、記載されている川が氾濫した場合に、その場所が浸水すると予測される深さを示したものです。実際の水位の高さに、色のついたテープが貼られている場合もあります。

「実績浸水深」の表示は、記載されている川が過去に氾濫した時に、その場所が実際に浸水した深さを示したものです。実際の水位の高さに、色のついたテープが貼られている場合もあります。

その場所が浸水する深さに応じて、いざという時、どう行動するかを考えましょう。自治体が発行しているハザードマップも確認して、地域で見たらどうなのかや、どこに逃げたらいいのか等を調べておきましょう。

その場所が過去に浸水した実績があるということは、また起きるかもしれないし、より大きな洪水が起きるかもしれません。自治体が発行しているハザードマップも確認して、どのくらいの洪水が起きる可能性があるのかや、どこに逃げたらいいのか等を調べておきましょう。

避難所(建物)の表示



「避難所(建物)」の表示は、避難できる建物を示しています。その避難所が対象としている災害の種類が一緒に記載されています。その他、表示の場所からの距離や方向が示されていたり、避難所そのものに表示されている場合もあります。

近くの避難所は、洪水の時に安全ですか？いざというときのために、身近な避難先を確認しておきましょう。

防災・安全交付金について

「防災・安全交付金」制度は、地域住民の命と暮らしを守る総合的な老朽化対策や、事前防災・減災対策の取組み、地域における総合的な生活空間の安全確保の取組みを集中的に支援するため、平成24年度補正予算において創設された制度であり、**まるごとまちごとハザードマップの実施に適用が可能です。**

制度の詳細については
こちらへ

防災・安全交付金



▶ 交付金制度の概要や対象事業のイメージ、申請の手続きの仕方などを知ることができます。

- 洪水予報や河川の水位等は「川の防災情報」で確認できる。
サイトは「川の防災情報」で検索できる(<https://www.river.go.jp/index>)。【PC又は スマートフォン】
- R3.3.23 サイトがリニューアル。IE（インターネットエクスプローラ）では表示できません。
閲覧の際は、「GoogleChrome」「MicrosoftEdge」「Safari」から。

The screenshot shows the website's navigation and search features. At the top, there's a header with the logo and title. Below it, a navigation bar contains a search bar and several menu items: '全国の洪水の危険度 (洪水予報等)', '情報の探し方を選ぶ', 'サイト内検索', '地図から探す', '市町村から探す', and '並べて見る'. The 'サイト内検索' section has a search box with buttons for 'フリー検索', '市町村名から検索', '河川名から検索', and '観測所名から検索'. The '地図から探す' section shows a map of Japan with a callout: 'レーダ雨量、水位、カメラの情報を地図上でまとめて表示'. The '市町村から探す' section shows a list of municipalities with a callout: '市町村内の各種情報をまとめて確認できます'. The '並べて見る' section shows a dashboard with multiple panels and a callout: '気象や水害・土砂災害に関する今の情報を確認できます。(情報マルチモニタ)'. A central callout bubble says '任意の地点を登録することが出来る', and another says '次ページ参照'. There are also buttons for '地点を登録' and a message '登録した地点の状況を確認できます'.

国土交通省 川の防災情報 “気象”×“水害・土砂災害” 情報マルチモニタ

操作説明

全国 北海道 東北 関東 北陸 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄 未登録 地点登録

国土交通省所管の簡易型河川監視カメラのメンテナンスについて

新着情報

東北の状況

川の水位情報

- ・河川水位計
- ・危機管理型水位計
- ・河川カメラ情報

浸水の危険性が高まっている河川

浸水の危険性が高まっている河川
選択範囲内に基準値を超過している観測所はありません

洪水予報の発表地域

ダムの放流通知

洪水キキクル

- ・気象庁
- ・浸水害の危険度

土砂キキクル

- ・気象庁
- ・土砂災害の危険度

水害リスクライン

- ・平面的なリスク情報
- ・河川カメラ

レーダ雨量 (XRAIN) 16:20

気象警報・注意報、土砂災害警戒情報 16:21

河川カメラ 16:20

川の水位情報 16:20

強い降雨が観測されている雨量観測所 16:21

洪水予報、水位到達情報 16:20

ダム放流通知 16:21

洪水キキクル (危険度分布) 16:21

土砂キキクル (危険度分布) 16:22

水害リスクライン 16:20

避難情報 16:22